



いわき市議会

創世会だより

SOUSEIKAI News

第2号

発行 いわき市議会 創世会
発行責任者 樫村 弘
〒970-8686 いわき市平字梅本21
TEL 0246-22-1111(代)(内線4132・4135)
FAX 0246-25-8380
E-mail iwaki.souseikai@gmail.com



地域医療など8項目

市長に予算編成で要望

予算要望書の概要

私たち創世会は、昨年11月、渡辺市長に対して「平成22年度いわき市予算要望」を行いました。

- その柱は、①地域医療など市民生活を直視した施策の実施 ②子育て支援、障害者・高齢者福祉の充実 ③経済・雇用環境の改善 ④農水商工業の振興と連携強化 ⑤教育環境の充実強化 ⑥スポーツ宣言都市の推進 ⑦公共施設の整備・充実 ⑧入札制度の見直しの8

本です。

著です。

国政は3党連立政権になりこれまでの政治の進め方を大きく変えつつあります。小泉政治は国及び自治体の財政を破たんさせたばかりか、5%超の失業、3万人超の自殺者に現われるように、人間の尊厳を大きく踏みこじってききました。経済も輸出産業優先の政策によって全国的に冷え切っており、本市の財政状況は、三位一体の構造改革とデフレ不況の進行で市民税の落ち込みが顕

渡辺敬夫市政はこうした中で、どのようなビジョンで指導性を発揮するのか市民は注目しております。少子高齢社会への対応、地域医療の再生、地域社会の還元、雇用の創造など、喫緊の課題山積です。

市民の皆さま、新年明けましておめでとうございませう。健やかにお正月をお迎えになられたことと存じます。

私たちは創世会は、こうした現況を踏まえて今後の行財政運営に当たっては、市民本位の市民参画による事務事業の進行をルール化する、そして透明化を徹底することを強く

く要望しました。
概要は、新病院建設を5年以内に、放課後児童クラブ運営の改善と行政組織の検討による子育て支援策の強化、「自立支援法」の廃止を踏まえて障がい児・障がい者施策の充実、市労働政策の確立と戦略産業の検証、農商工の連携と「弁当の日」の実施検討、学校施設の耐震強化と校庭の芝生化、図書関係予算充実、公共施設予約システムの抜本的改善、支所ほか公共施設の再編及び改築への市民合意などです。
市民本位とは是非々の立場を貫いてまいります。

年頭ごあいさつ

山積する難問解決へ 各種建設的提言にも全力

創世会会長 樫村 弘



市民の皆さま、新年明けましておめでとうございませう。健やかにお正月をお迎えになられたことと存じます。

属政党などは自由とし、市政各般については、主張、賛否については、各議員の責務のもとで判断するなど党派としては拘束しないなど、各自の考え方を最大限尊重することとしております。

本市内外の諸情勢は国の政権交代と世界的不況のなか、巨額の借金財政にあえぎ、医療、福祉、教育をはじめ、農林漁業、商工業、各種まちづくりなど難問が山積しておりますが、私たちはこれらに真正面から取り組み、各種建設的な提言にも全力をあげる決意を新たにしておりますので、ことしもよろしくお願いたします。

平成18年11月28日に、5人の仲間と新しい世紀を創造したいとの願いを込めて結成した創世会は融和と協調を大切に、市政のチェック機能を強化し、市勢の進展と市民福祉の向上を目指すことを基本としながらも、所

結びに、市民の皆さまのご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。